


The logo for JMDC, consisting of the letters J, M, D, and C in a bold, black, sans-serif font.

JMDC

A decorative background graphic on the left side of the page, featuring a network of interconnected nodes and lines. The nodes are represented by small circles in various shades of green and grey, connected by thin, light grey lines, creating a complex web-like structure.

2024年3月期第1四半期 決算説明資料

株式会社JMDC

2023年8月9日

Section 1

2024年3月期 第1四半期業績報告

2024年3月期 第1四半期：連結業績サマリー

本Q1の利益（EBITDA）はややスロースタートとなっていますが、下期偏重の事業構造を踏まえると年度を通じては問題ない水準と理解しています。また、子会社譲渡に伴う譲渡益を計上したことにより、営業利益以下の各利益は大きく拡大しました。

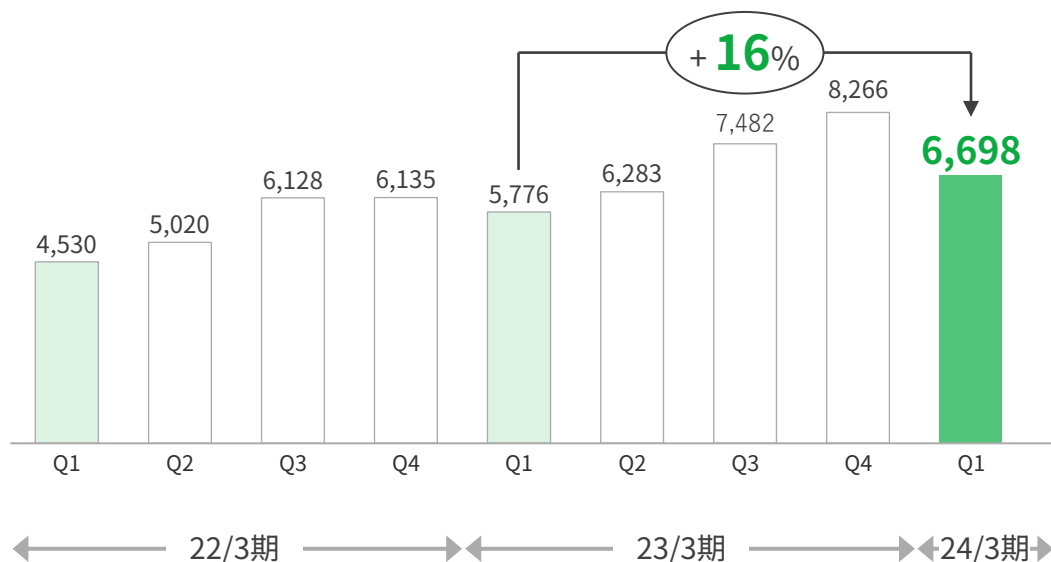
(単位：百万円)	23年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	前年同期比
売上収益	5,776	6,698	+16%
営業利益 (率)	1,081 (19%)	2,546 (38%)	+136%
税引前利益 (率)	1,120 (19%)	2,552 (38%)	+128%
親会社の所有者に 帰属する利益 (率)	765 (13%)	2,040 (31%)	+167%
EBITDA (マージン)	1,521 (26%)	1,679 (25%)	+10%

2024年3月期 第1四半期：連結売上収益/EBITDAの四半期状況

前年度のQ1が好調であったことを踏まえると、本Q1も売上収益、利益ともに順調なスタートが切れたと考えております。

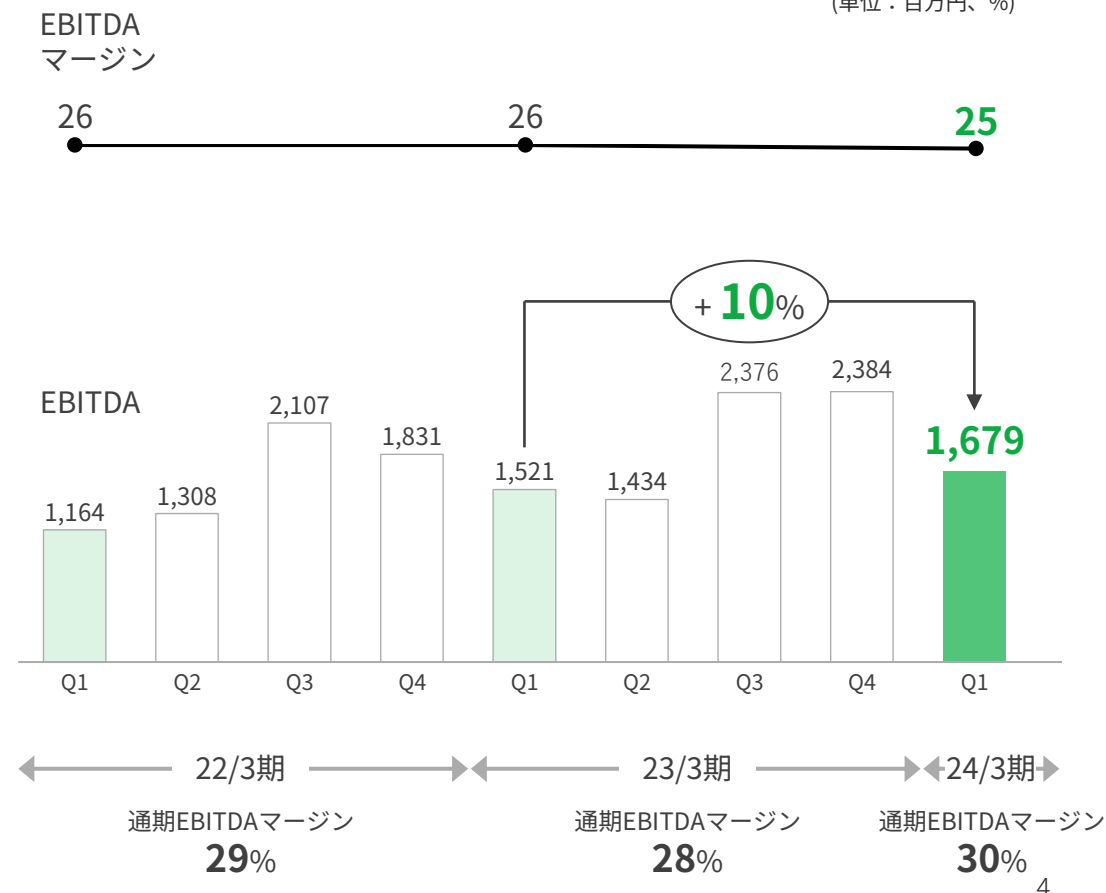
連結売上収益 前年比較

(単位：百万円)



連結EBITDA/マージン 四半期推移

(単位：百万円、%)



Note: IFRSベース
EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用、EBITDAマージン：EBITDA÷売上収益



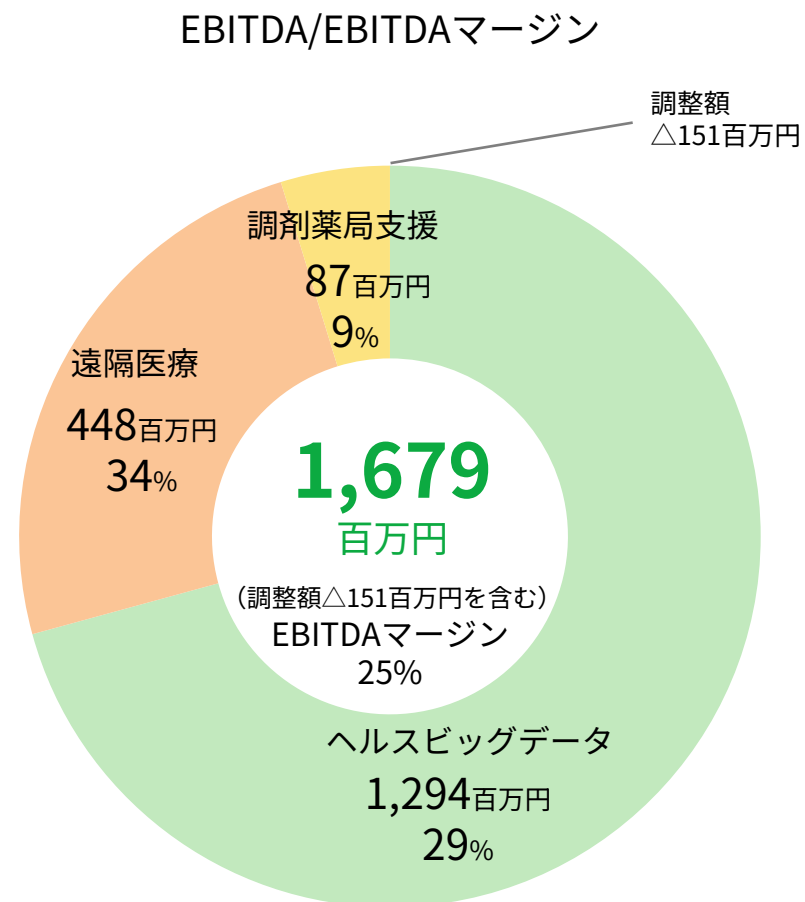
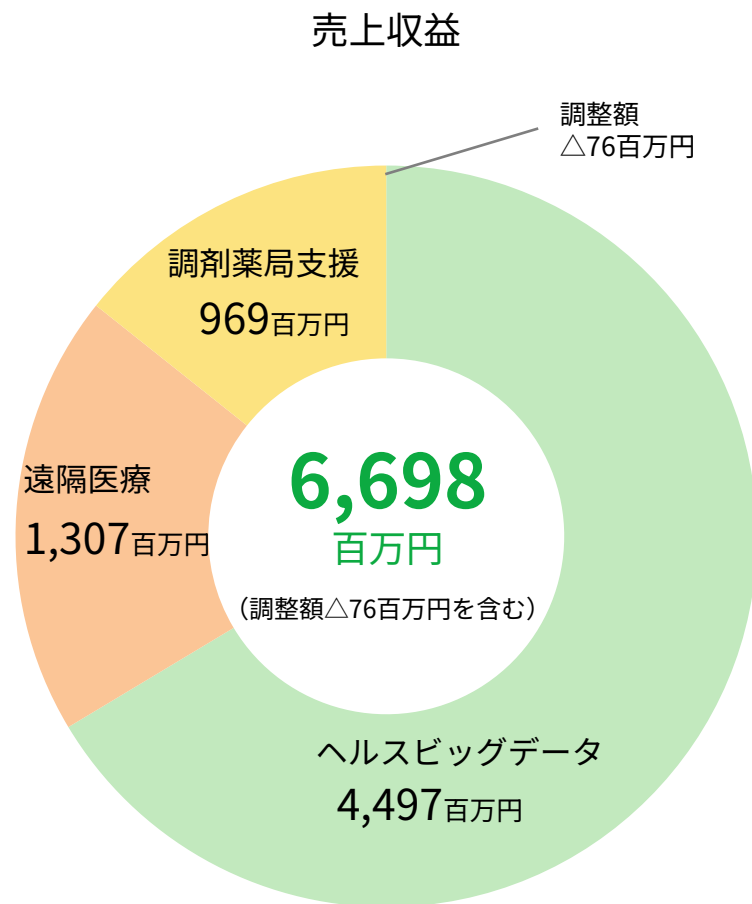
2024年3月期 第1四半期：セグメント別業績

全てのセグメントで売上・利益ともに伸長しました。

(単位：百万円)		23年3月期 第1四半期	24年3月期 第1四半期	前年同期比
ヘルスビッグデータ	売上	3,749	4,497	+20%
	EBITDA (マージン)	1,124 (30%)	1,294 (29%)	+15%
遠隔医療	売上	1,175	1,307	+11%
	EBITDA (マージン)	439 (37%)	448 (34%)	+2%
調剤薬局支援	売上	910	969	+7%
	EBITDA (マージン)	47 (5%)	87 (9%)	+84%
調整額	売上	△58	△76	-
	EBITDA	△90	△151	-

(参考) 2024年3月期 第1四半期: セグメント別売上収益/EBITDA

ヘルスビッグデータが当社グループの売上約7割、EBITDA7割以上を創出しています。遠隔医療は引き続き高い収益力を維持。調剤薬局支援は安定した収益性を保持しています。



Section 2

業績予想の修正

2024年3月期：通期業績予想の修正（連結）

事業進捗は想定通りであるものの、調剤薬局支援セグメントの子会社譲渡に伴う譲渡益を織り込み、業績予想を修正いたしました。

(単位：百万円)	23年3月期通期実績	(今回修正) 24年3月期通期計画	前期比
売上収益	27,809	33,000	+19%
営業利益 (率)	5,926 (21%)	8,800 (27%)	+48%
税引前利益 (率)	5,876 (21%)	8,750 (27%)	+49%
親会社の所有者に 帰属する利益 (率)	4,268 (15%)	6,500 (20%)	+52%
EBITDA (マージン)	7,716 (28%)	9,750 (30%)	+26%

2024年3月期：通期業績予想の修正（セグメント別）

セグメント別においては、調剤薬局支援セグメント及び調整額につき修正いたしました。

(単位：百万円)		23年3月期通期累計	(今回修正) 24年3月期通期計画	前期比
ヘルスビッグデータ	売上	19,221	25,600	+33%
	EBITDA	6,134	8,100	+32%
	(マージン)	(32%)	(32%)	
遠隔医療	売上	5,038	5,700	+13%
	EBITDA	1,768	2,000	+13%
	(マージン)	(35%)	(35%)	
調剤薬局支援	売上	3,826	1,800	△53%
	EBITDA	459	150	△67%
	(マージン)	(12%)	(8%)	
調整額	売上	△277	△100	-
	EBITDA	△649	△500	-

Section 3

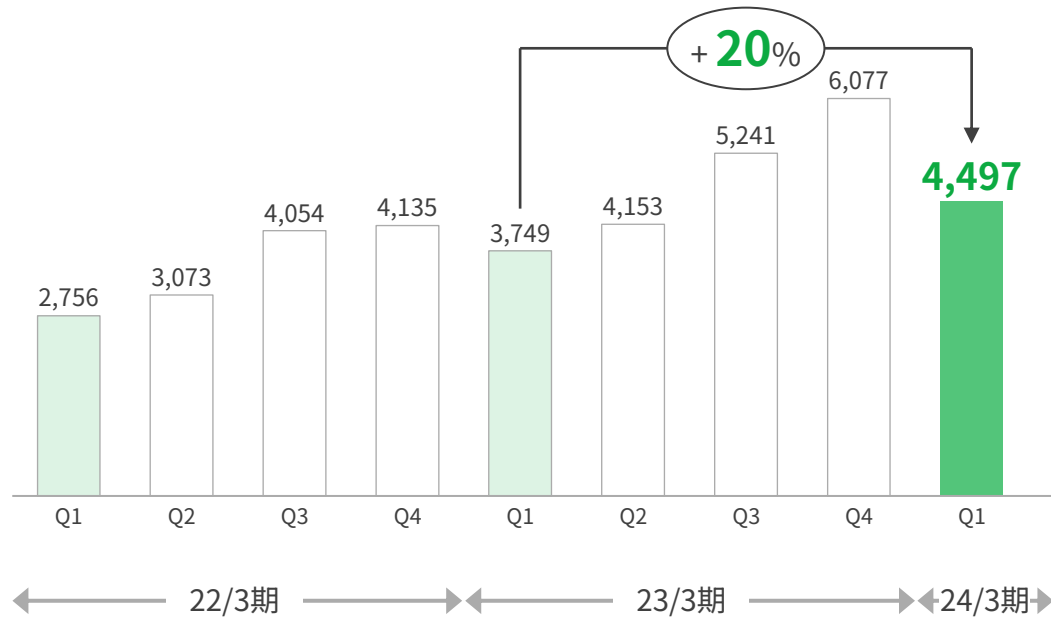
ヘルスビッグデータ

ヘルスビッグデータ事業：業績

売上収益/EBITDAともに安定した成長を継続しています。

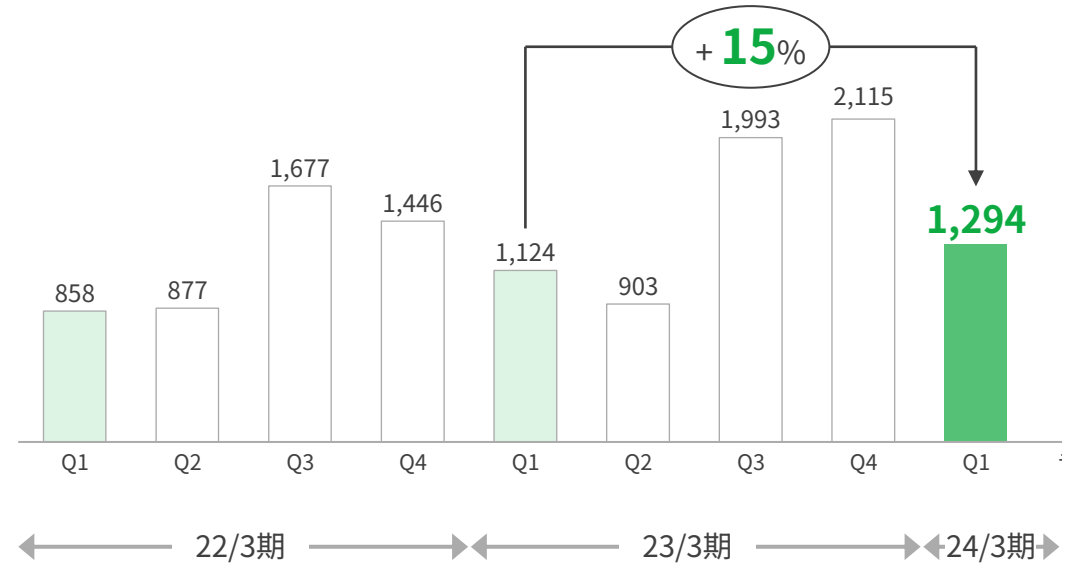
売上収益 四半期推移

(単位：百万円)



EBITDA 四半期推移

(単位：百万円)



Note: IFRSベース
EBITDA：営業利益+減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

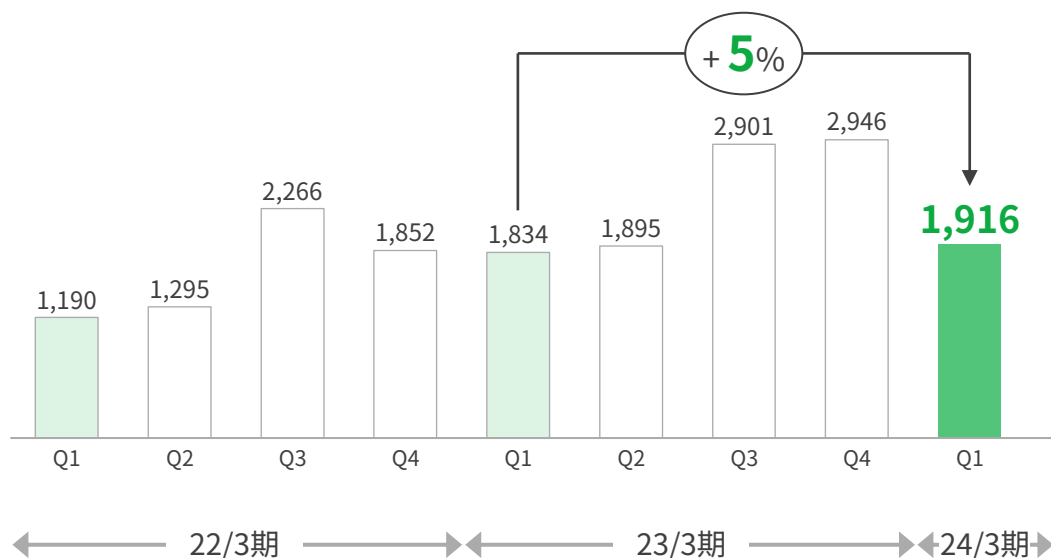


インダストリー向け: データ活用の事業状況

インダストリー向け事業は、前年度Q1がとりわけ好調であったため、YoYで見ると低い成長率に留まりました。ただし、LTMではしっかりとした成長が確認できており、データ利活用のマーケットの広がりは継続しています。

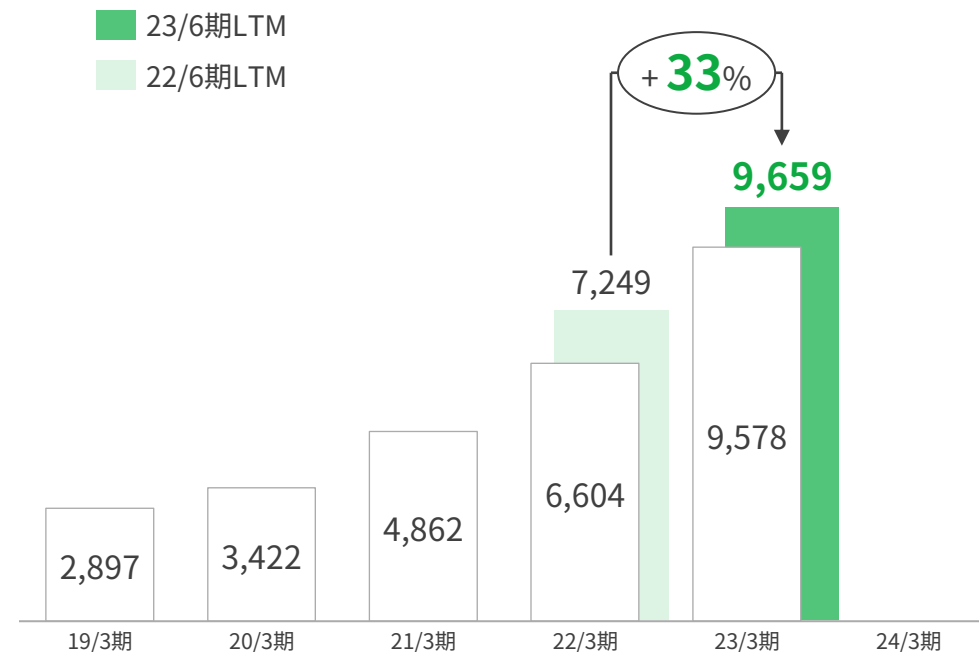
インダストリー向けデータ活用 売上

(単位: 百万円)



インダストリー向け売上 年度推移

(単位: 百万円)

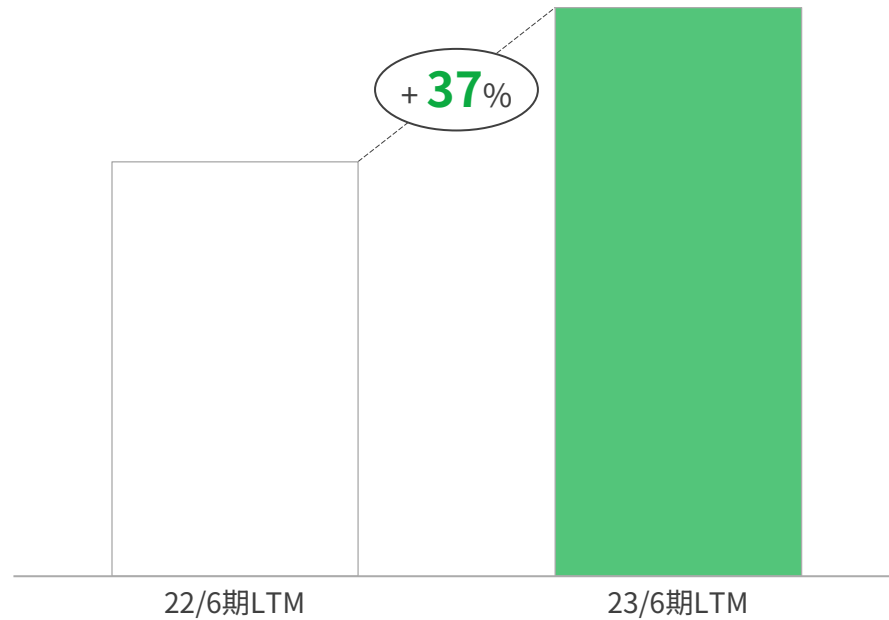


(参考) インダストリー向け: 製薬企業クライアントのデータ活用の拡がり

インダストリー向けの主要ターゲットである製薬企業との取引額は、LTMベースで+37%と順調に拡大しています。また、製薬企業のクライアント数も+19%と増加しており、ユーザーの裾野も拡がり続けています。

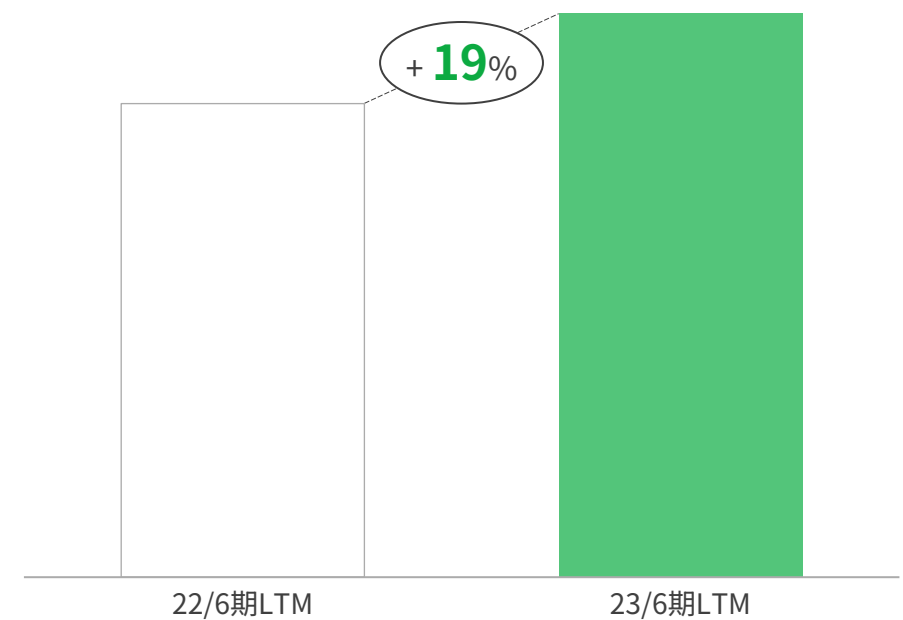
製薬企業との取引額

(金額ベース)



製薬企業クライアント数

(社数ベース)

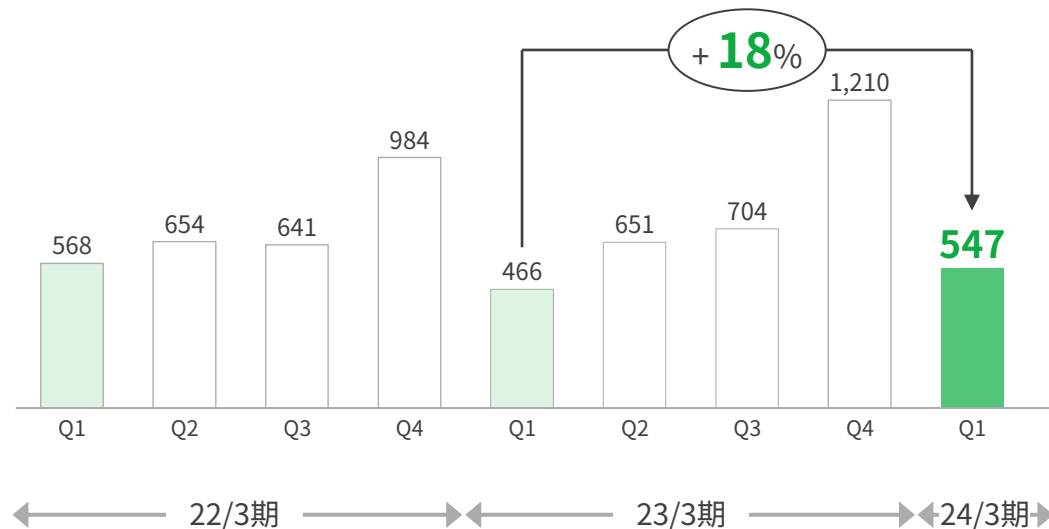


保険者・生活者向け及び医療提供者向け：事業の状況

保険者・生活者向け事業は、Pep Up関連売上が成長を牽引しています。また医療提供者向け事業は、サービスラインナップの拡充により、事業規模の拡大が続いています。

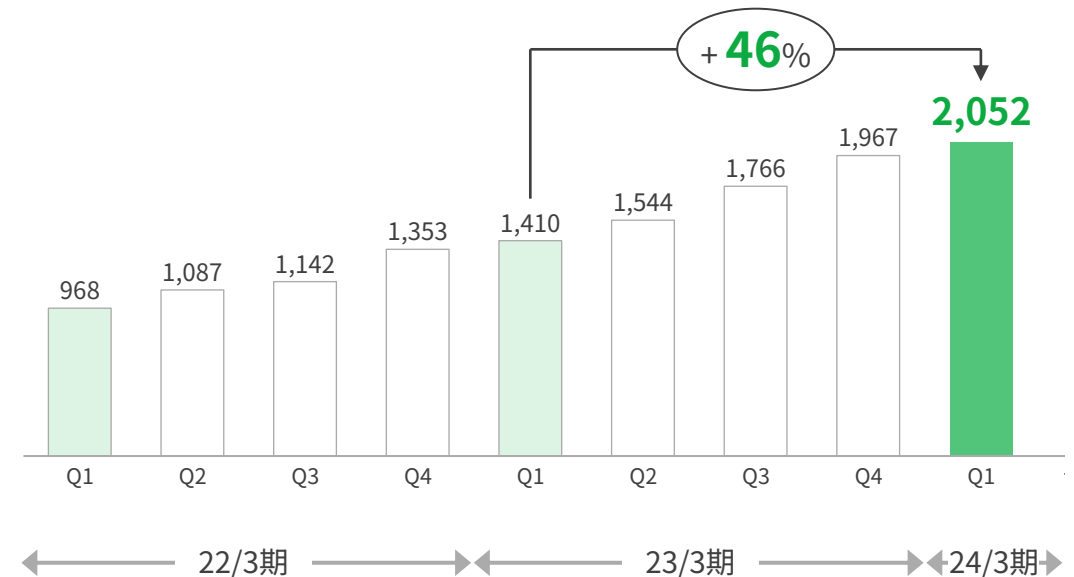
保険者・生活者向け事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



医療提供者向け事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



Section 4

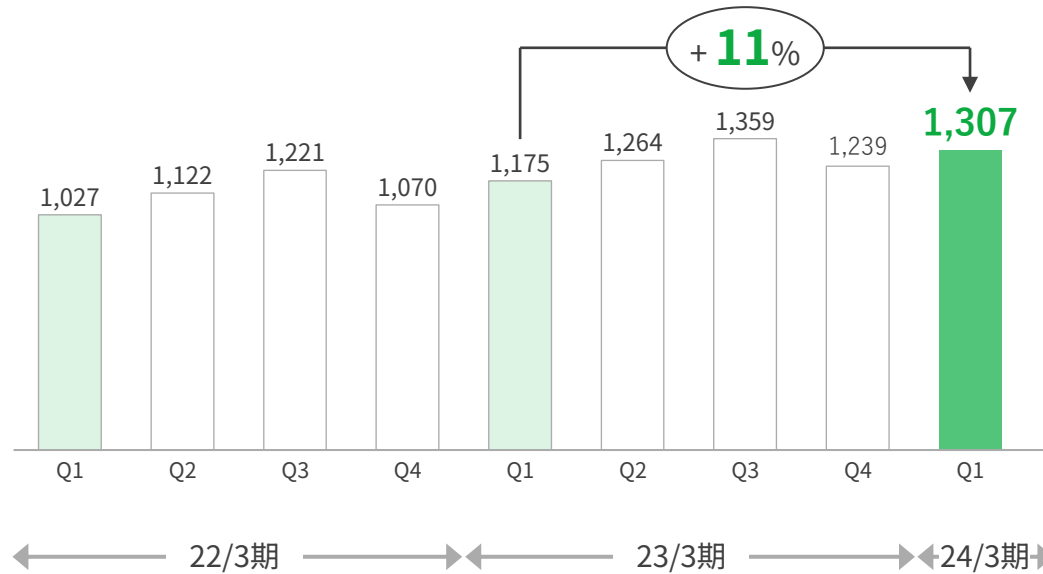
遠隔医療及び調剤薬局支援

遠隔医療事業：業績

堅実な需要に支えられ、業績は順調に推移しています。

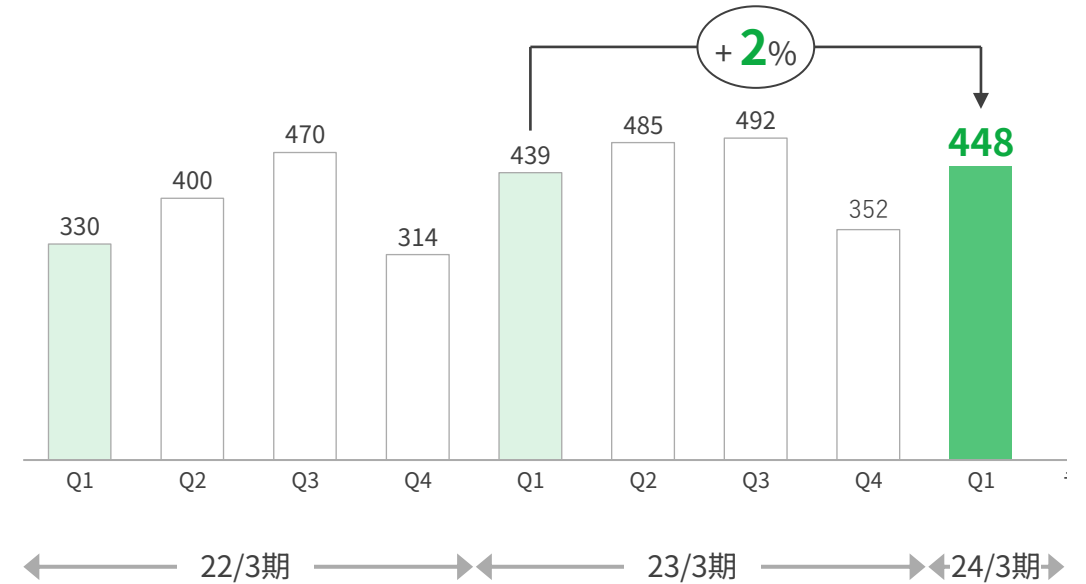
遠隔医療事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



EBITDA 四半期推移

(単位：百万円)



Note: EBITDA：営業利益＋減価償却費及び償却費±その他の収益・費用

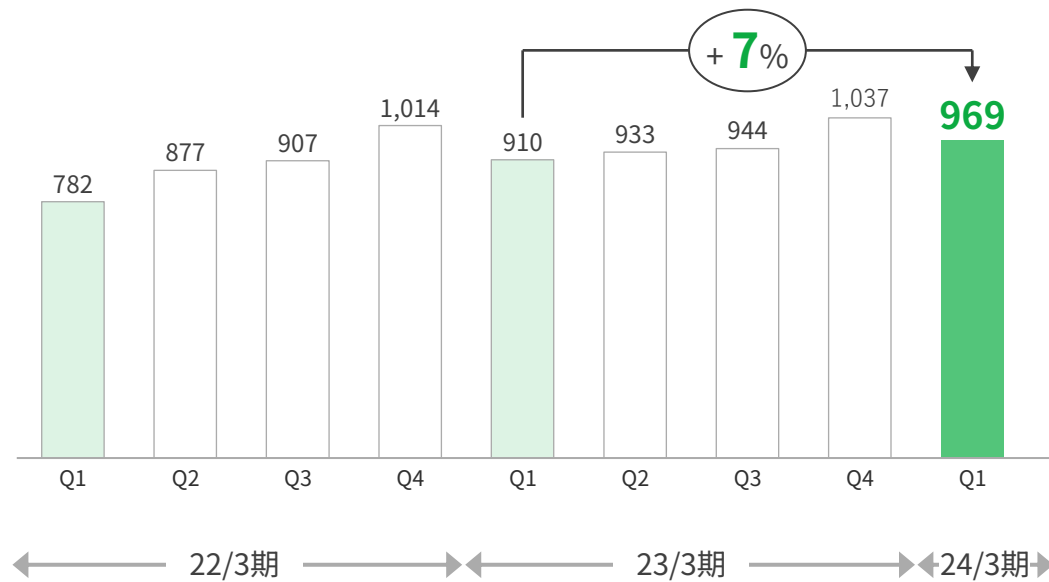


調剤薬局支援事業：業績

安定した売上・収益を創出しています。なお、6月末に子会社譲渡を実施したため、Q2以降、本セグメントの事業規模は縮小します。

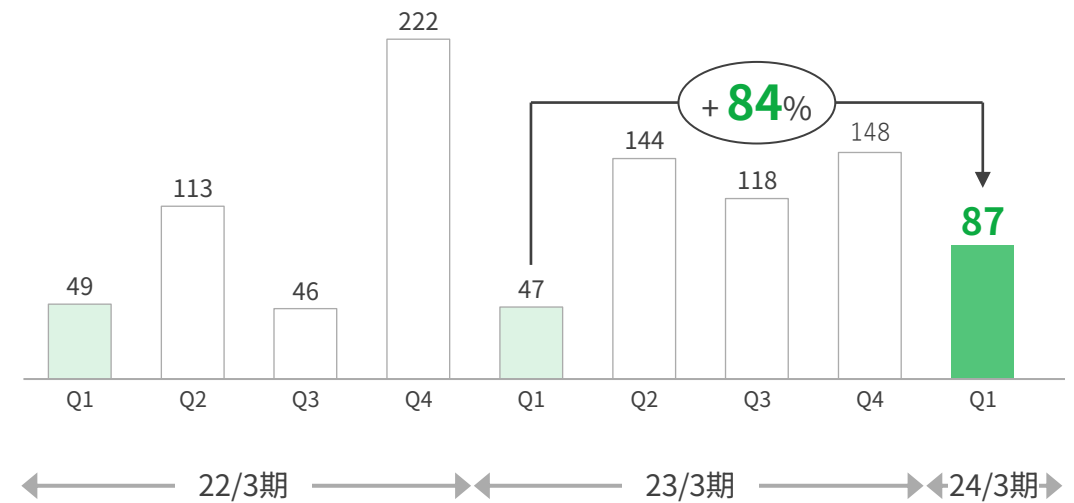
調剤薬局支援事業売上 四半期推移

(単位：百万円)



EBITDA 四半期推移

(単位：百万円)



Note: EBITDA：営業利益＋減価償却費及び償却費±その他の収益・費用



Appendix

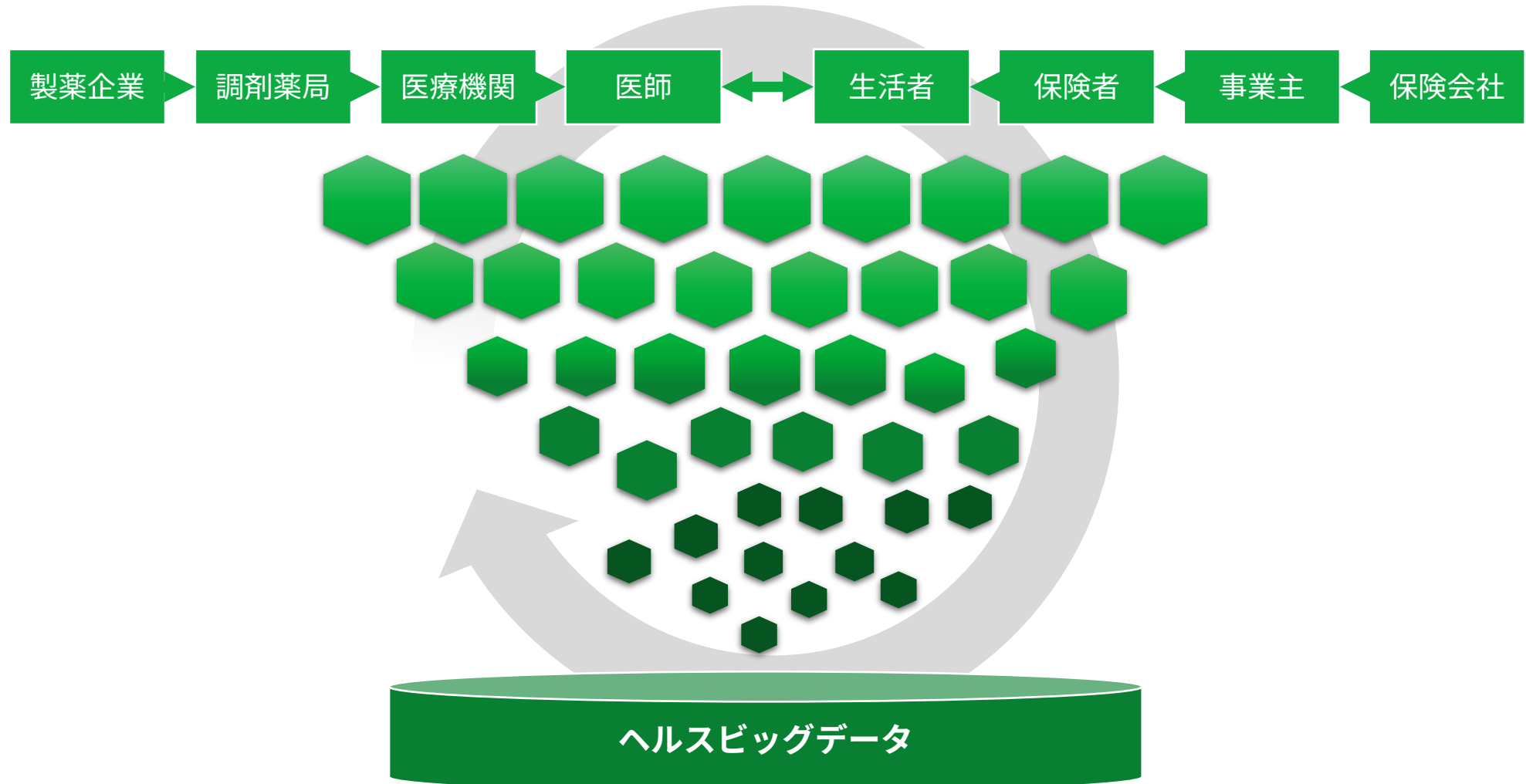
事業展望

「健康で豊かな人生をすべての人に」

データとICTの力で、
持続可能なヘルスケアシステムを実現する

今後の方針

ヘルスケア業界における様々な領域でデータを活かしたサービスを提供し、データの還元を受け、さらにサービスを進化させるというエコシステムでデータと事業領域を拡張していきます。



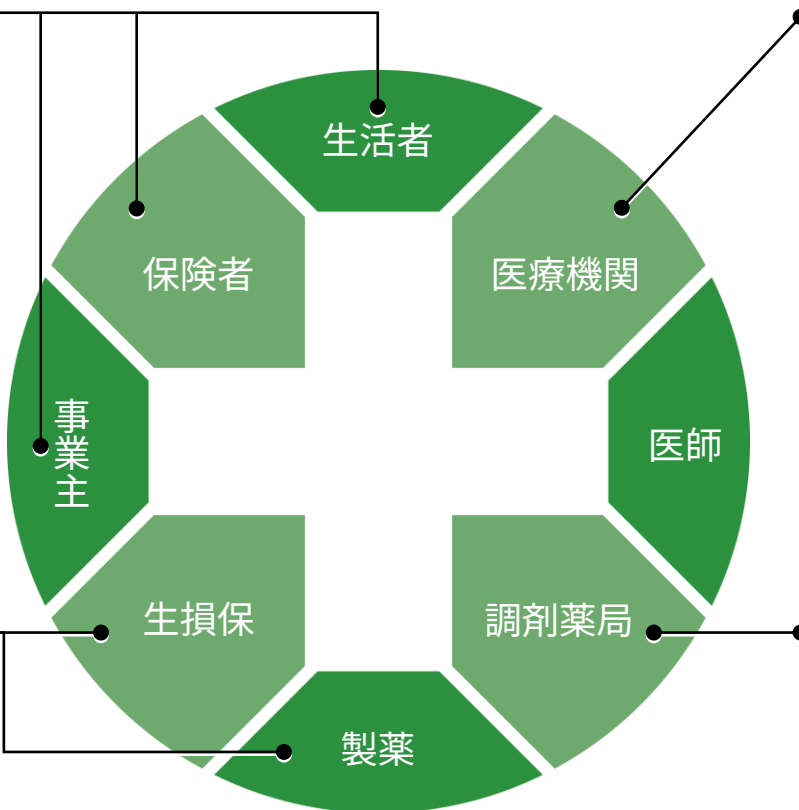
ヘルスケアプレーヤー別の事業規模

データに基づくサービスを充実させることで、様々なヘルスケアプレーヤーに対して事業をバランスよく行っています。

(2023.3月期)

30 億円

- 保険者向け分析、ICTツールの提供
- 圧倒的な規模を維持し、より深い保健事業のサポートを行う
- 今後は、事業主/自治体向けのサービス提供に大きな成長余地を見込む



117 億円

- 遠隔画像診断、薬剤DB、経営支援ツールの提供
- ファイナンス、Web問診などサービスを強化
- 施設DBや医師DBも整備

95 億円

- データの活用事業を展開
- 今後も、アップセル・クロスセルにより顧客あたり取引額を拡大
- オープンデータにも着目し製薬・保険会社だけでなく幅広く顧客を拡大

38 億円

- 電子薬歴・レセコンの開発・提供
- 自社でも調剤薬局を運営しショールームとしている
- 今後は、オンライン対応及び服薬指導を強化

本資料は、株式会社JMDC（以下「当社」といいます。）及び当社グループの企業情報等の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本資料に記載される当社グループの目標、計画、見積もり、予測、予想その他の将来情報については、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の当社グループの経営成績、財政状態その他の結果は、国内外の経済情勢、業界の動向、他社との競業、人材の確保、技術革新、その他経営環境等により、本資料記載の内容又はそこから推測される内容と大きく異なる可能性があります。

本資料に記載される業界、市場動向又は経済情勢等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社グループがその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。本資料に記載されている当社以外の企業等に関する情報は、公開情報又は第三者が作成したデータ等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について、当社は独自の検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。本資料には、業界、市場動向又は経済情勢等に関し、当社グループの見立て、予想、又は試算に基づく情報が記載されていることがありますが、これらは、本資料の作成時点における当社グループの判断又は考えにすぎず、実際の数値はこれらと大きく異なる可能性があります。また、本資料に記載される当社グループにおける潜在的な収益機会に関する情報は、一定の仮定に基づき当社が現時点において想定する将来的な収益機会に関する潜在的な可能性（規模感）を示すものに過ぎず、特定の時点における当社の業績についての予想、計画、見込、目標等を示すものではなく、また、実際の結果はこれらと大きく異なる可能性があります。他社の財務数値その他の指標は、会計基準又は計算方法の違い等の理由により、当社における対応する指標と直接比較することはできません。今後の状況の変更等が本資料の内容に影響を与える可能性があります。当社は、本資料を更新、修正又は確認する義務を負うものではありません。本資料の内容は事前の通知なく変更されることがあります。



J M D C